

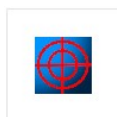
J_Target V1.08 の説明書

初版

- 【アプリ名】 J_Target V1.08
- 【動作環境】 Windows (Framework インストール済みの環境)
- 【機能概要】 マウス動作を視覚的に補助するインストール不要のプレゼン用マウスユーティリティ。
- 1) カーソル位置のマーク表示機能。
 - 2) マウスクリック時、Drag&Drop 時、右クリック時のアクション表示機能。
 - 3) ルーベによるカーソル付近の拡大表示機能。
 - 4) スクリーン上に簡易的な図形を描画。(四角形/フリーペン)
 - 5) 図形を描画すると自動でその横に拡大を表示する機能(ルーベリンク機能)。
 - 6) 画面のキャプチャ表示機能。
 - 7) ディスプレイの拡大率設定に対応。
 - 8) スクリーンセーバー抑制機能。
- 【インストール】 ハードディスク上の適当なフォルダに展開し、exe ファイルを実行すると起動する。
アンインストールする場合、フォルダごと削除する。

1. アプリケーションの起動/中断/終了方法の説明

- 1) exe ファイルを実行するとアプリケーションが起動し、タスクトレイにアイコンが追加される。



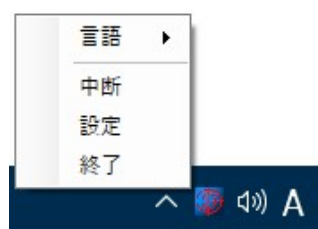
アプリケーションが起動すると、以下の機能を使用することができる。

機能	有効化の条件 (デフォルト)
カーソル位置のマーク表示	常時
マウスのアクション表示	常時
カーソル位置の拡大	「Alt」キーを押している間
画面上に四角形の描画	「無変換」キーを押している間
画面上にフリーペンの描画	「無変換」+「Ctrl」キーを押している間
図形描画箇所の拡大	「無変換」+「Shift」キーを押している間
画面のキャプチャと表示	「Shit」+「PrintScreen」キーを押すと有効 「Esc」キーを押すと元に戻る

※キーの割り当ては変更が可能

- 2) タスクトレイのアイコンを右クリックすることで以下の機能を実行することができる。

項目	説明
言語	日本語/英語の切り替える。
中断/再開	「中断」を選択すると機能を一時的に中断する。 「再開」を選択すると再開する。
設定	現在の設定を変更する。 ※設定の変更に関する詳細は「10. 設定変更の説明」を参照。
終了	アプリケーションを終了する。



- 3) 設定変更画面では設定内容の変更ができる。
 設定内容の変更後に「OK」ボタンを押すと、変更内容が反映されるとともに「J_Target_Setting.xml」に上書き保存される。「J_Target_Setting.xml」は次に起動した時の設定として読まれる。
 「適用」ボタンを押すと、設定画面を開いている間だけ、その変更内容が一時的に反映される。
 「キャンセル」ボタンを押した場合、変更した内容は破棄され、設定変更画面を開く前の状態に戻る。

< 設定変更画面 >

2. カーソル位置のマーク表示機能の説明

- 1) カーソル位置の視覚化機能として、マークを表示。
 表示条件を「キーが押されている間だけ表示」にした場合、右「Ctrl」キー(デフォルト)を押している間だけマークが表示され、キーを離すと表示は消える。(キーの割り当ては変更が可能)
 但し、ルーペ機能と図形描画機能を利用している間、マークの表示は消える。
- 2) デフォルトでの設定は以下の通り。

項目	デフォルトの設定
条件	常に表示
不透明度	40 %
円の半径	40 pix
色	オレンジ
線の太さ	50 %
実行キー割り当て	「Ctrl」キー

※キーの割り当ては変更が可能



< カーソルのマーク >

3. マウスアクション表示機能の説明

- 1) マウスのクリックアクションの視覚化機能として、以下のアクションに対応。

アクション	表示形式	デフォルトの時間	デフォルト
クリック	テキスト/画像ファイル	500ms ※1	GIF アニメーション(サークル)
ドラッグ	テキスト/画像ファイル	250ms ※2	「押したまま」のテキスト
ドロップ	テキスト/画像ファイル	500ms ※1	「離れた」のテキスト
右クリック	テキスト/画像ファイル	500ms ※1	「右クリック」の画像

※1 デフォルトの表示時間。

※2 デフォルトのクリック/ドラッグの判定時間。



<クリック時>



<ドラッグ時>



<ドロップ時>



<右クリック時>

- 2) 設定変更は、初期設定ファイル/アイコンの設定変更から変更できる。
設定変更できる項目は以下の通り。

<テキスト>

- ・ 表示内容
- ・ 色
- ・ フォントサイズ

<画像>

- ・ 画像ファイルのパス指定

<共通>

- ・ 表示位置 Offset
- ・ 音声の有効 ※ドラッグはなし
- ・ 音声のファイルのパス指定 ※ドラッグはなし

- 3) 表示できる画像の条件は以下の通り。

項目	説明
ファイル形式	.bmp / .gif / .jpeg / .png …など (アニメーション GIF も可能)
最大表示サイズ	128 pix x 128 pix まで

- 4) 音声の条件は以下の通り。

項目	説明
ファイル形式	.wav

4. ルーペ機能の説明

- 「Alt」キーを押している間だけ、マウスカーソルの付近を拡大して表示することができる。(リアルタイム表示) キーを離すと表示は消える。(キーの割り当ては変更が可能)
- デフォルトでの設定は以下の通り。

項目	デフォルトの設定
拡大率	x 3
ルーペの表示サイズ	600 pix x 80 pix
実行キー割り当て	「Alt」キー
無効キー割り当て	なし

※キーの割り当ては変更が可能

※無効キーに割り当てたキーを押すと強制的にルーペ機能を表示しない



<ルーペ使用時>

- 設定変更は、初期設定ファイル/アイコンの設定変更から変更できる。
- ルーペ機能のキー(「Alt」キー)を押している状態で、以下のキーを押すとルーペのサイズと拡大率を一時的に変更できる。

ルーペ機能のキー	キー動作	説明
Alt キー +	カーソルキー(↑/↓/←/→)	ルーペサイズの変更
	「Shift」キー + カーソルキー(↑/↓)	ルーペ拡大率の変更

※Shift キー/カーソルキーのキー割り当ては変更できない。

5. スクリーン上の図形描画機能の説明

- 「無変換」キーを押している間だけ、マウスで図形を描画することができる。キーを離すと表示は消える。(キーの割り当ては変更が可能) 但し、描画できるのはカーソルがあるモニタのみ。

- 四角形のデフォルトでの設定は以下の通り。

項目	デフォルトの設定
描写時のスクリーンの透明度	40 %
色	赤
線の太さ	3 pix
実行キー割り当て	「無変換」キー
無効キー割り当て	なし

※キーの割り当ては変更が可能

※無効キーに割り当てたキーを押すと強制的に図形描画を表示しない

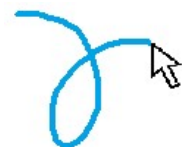


<四角形の描画時>

- フリーペンのデフォルトでの設定は以下の通り。

項目	デフォルトの設定
描写時のスクリーンの透明度	60 %
色	青
線の太さ	5 pix
実行キー割り当て	「無変換」キー + 「Ctrl」キー

※キーの割り当ては変更が可能



<フリーペンの描画時>

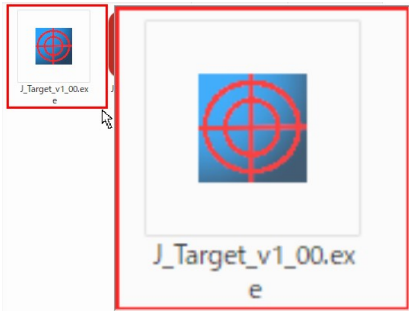
6. ルーペ Link 機能の説明

1) 図形描画のキー(無変換キー)を押しながらルーペ Link のキー(「Shift」キー)を押している間、図形描画機能にルーペ機能を付加することができる。(キャプチャ表示)
この状態でマウスで図形を描画するとその横に拡大した画像が表示される。(キーの割り当ては変更が可能)
但し、この機能は描画機能が有効でないと使えない。

2) デフォルトでの設定は以下の通り。

項目	デフォルトの設定
拡大率	x 3
キー割り当て	「Shift」キー

※キーの割り当ては変更が可能



<ルーペ Link での図形描画時>

7. スナップ機能の説明

- 1) 「Shift」キーを押しながら「PrintScreen」キーを押すと、カーソルのある画面をキャプチャし、全画面表示する。
(キャプチャ表示)
同時にその画面をクリップボードにコピーする。
「Esc」キーを押すと元の画面に戻る。(キーの割り当ては変更が可能)
スナップ機能で表示中は画面の外枠に色がつく。

※右クリックやメニューなどのポップアップリストに対してルーペや図形描画を行おうとすると、フォーカスが外れてポップアップリストが消えてしまう。その場合、このスナップ機能を利用する。

(注意) メインモニター以外では枠線が表示されない場合がある。

(注意) スナップ機能が有効の間は、設定変更からの変更はできない。

- 2) 「Shift」キーを押しながら「↑」/「↓」キーを押すと、拡大/縮小する。
100~200%の範囲で拡大/縮小が可能。
- 3) 拡大した状態で「↑」/「↓」/「←」/「→」キーを押すと、画面が移動する。
- 4) デフォルトでの設定は以下の通り。

項目	デフォルトの設定
線の太さ	5 pix
線の色	青
実行キー	「Shift」キー + 「PrintScreen」キー
解除キー	「Esc」キー
拡大/縮小	25 % 刻みで 100~200%
移動	50 pix 刻み

※キーの割り当ては変更が可能

※拡大/縮小のデフォルト値は変更できない。

8. モニタ設定の補正機能の説明

- 1) システム設定のディスプレイ拡大率を 100%以外で使用している場合、ルーペ機能やルーペリンク機能の表示がずれる。この問題を補正する為に拡大率を指定して、位置ずれを補正することができる。

[コントロールパネル]-[システム]-[ディスプレイ]-[拡大縮小とレイアウト]の拡大率の値を設定変更画面のディスプレイタブに設定する。

拡大縮小とレイアウト

一部のアプリは、閉じてもう一度開くまで、拡大縮小の変更に応答しません。

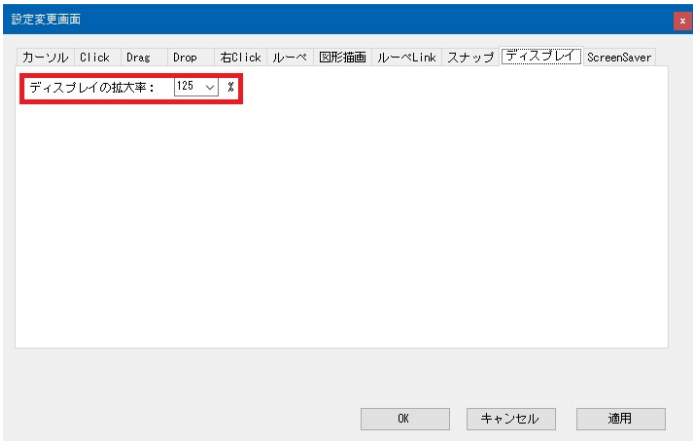
テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する

125% ▼

表示スケールの詳細設定

ディスプレイの解像度

1920 × 1080 (推奨) ▼



<Windows のディスプレイの設定画面>

<J_Target の設定画面>

- 2) デフォルトでの設定は以下の通り。

項目	デフォルトの設定
ディスプレイの拡大率	100 %

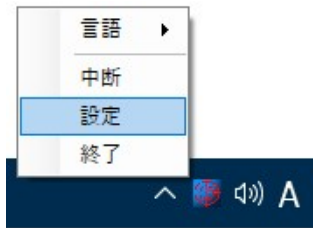
9. スクリーンセーバー抑制機能の説明

- 1) 有効にすると指定時間毎にカーソル位置を確認し、同じ位置にいる場合、カーソル位置を少しずらして、スクリーンセーバーが起動するのを抑制する。
±移動量の範囲は同じ位置と見なす。
- 2) デフォルトでの設定は以下の通り。

項目	デフォルトの設定
スクリーンセーバーの抑制機能	無効
時間の間隔	5 分
移動量	2 pix

10. 設定変更の説明

- 1) タスクトレイのアイコンを右クリックし「設定」を選択すると、現在の設定を変更することができる。各設定項目を変更後、「適用」ボタンを押すと、変更内容が一時的に反映される。「OK」ボタンを押すと変更内容が反映され、「J_Target_Setting.xml」ファイルに上書き保存される。

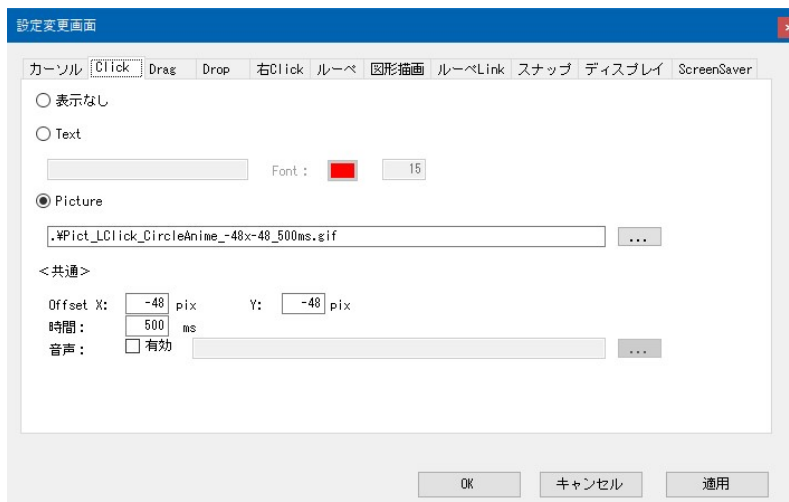


- 2) カーソル位置のマーク表示機能の設定は以下の通り。



<カーソルの設定変更画面>

- 3) マウスアクション表示機能(クリック/ドラッグ/ドロップ/右クリック)の設定は以下の通り。
※設定項目は、クリック/ドラッグ/ドロップ/右クリック で共通。
ただし、ドラッグは音声指定はできない。
※ドラッグの時間は、クリック/ドラッグの判定時間。それ以外の時間は表示時間。



<クリックの設定変更画面>

- 4) ルーペ機能の設定は以下の通り。



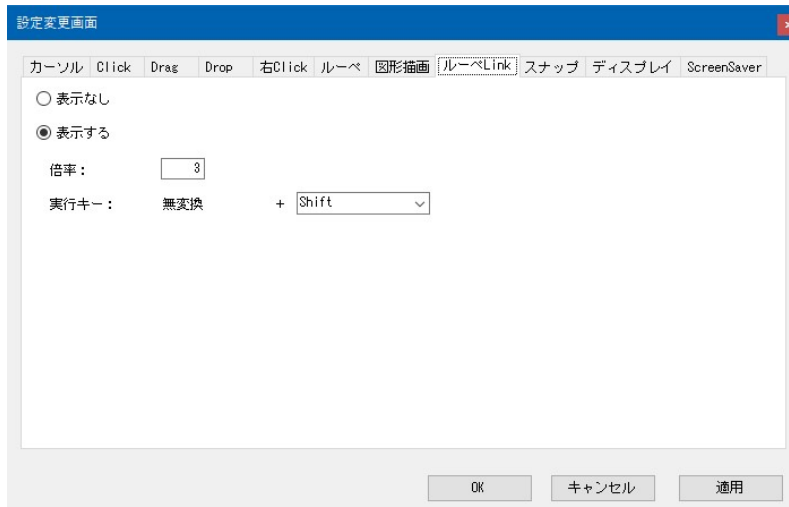
＜ルーペの設定変更画面＞

- 5) 図形描画機能の設定は以下の通り。



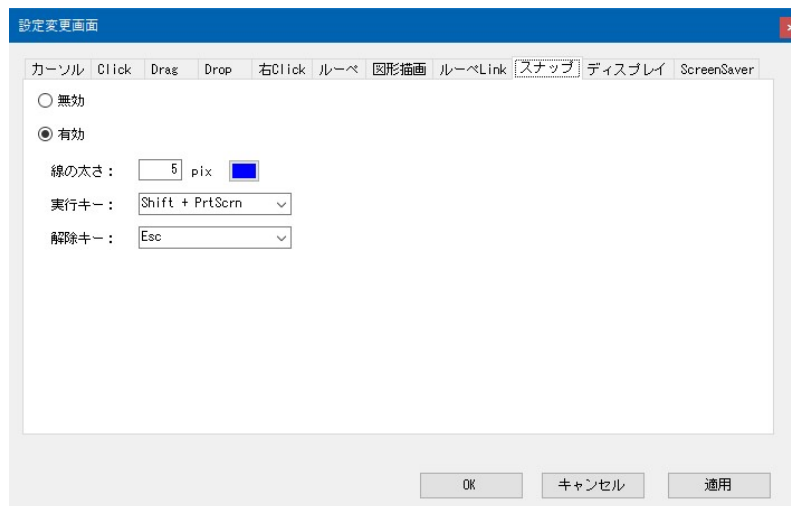
＜図形描画の設定変更画面＞

- 6) ルーペLink 機能の設定は以下の通り。



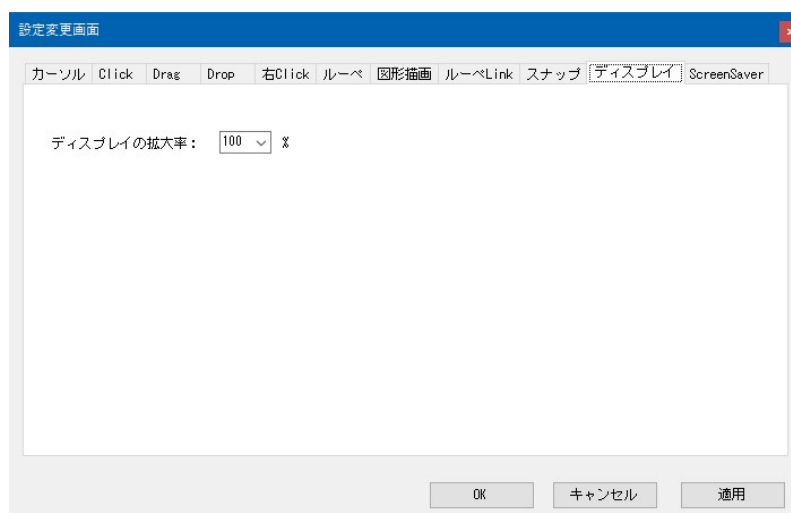
＜ルーペLink の設定変更画面＞

- 7) スナップ機能の設定は以下の通り。



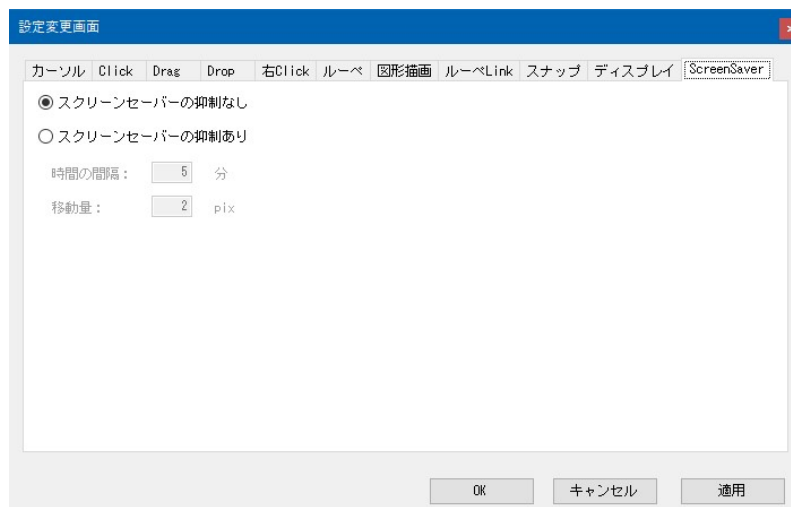
＜スナップの設定変更画面＞

- 8) ディスプレイの拡大率の設定は以下の通り。



＜スクリーンセーバー抑制機能の設定変更画面＞

- 9) スクリーンセーバー抑制機能の設定は以下の通り。



＜スクリーンセーバー抑制機能の設定変更画面＞

1 1. 初期設定ファイルの説明

- 1) 起動時の初期設定として「J_Target_Setting.xml」(UTF-8 形式)を読み込んでいる。
- 2) 設定変更画面の「OK」ボタンを押すと、上書き保存される。
- 3) テキストエディタで直接に設定を変更しても良い。(細かな説明は省略)

1 2. キー割り当ての説明

カーソル位置のマーク表示機能/ループ機能/図形描画機能/ループ Link 機能/スナップ機能ではキーの割り当てが変更できる。
変更の条件は以下の通り。

- 1) 設定変更画面のリストはデフォルトのリストの中から選ぶこともできるが、それ以外のキーの割り当てを直接書き込むことで指定が可能。
- 2) 最大2つまでの複数のキー条件を指定して、キーの同時押し設定が可能。その際は「+」で連結して指定する。

＜同時押し対応の機能＞

機能	項目名
カーソル位置のマーク表示	実行キー
ループ	実行キー
図形描画(四角形)	実行キー
図形描画(フリーペン)	実行キー
ループ Link	実行キー
スナップ(実行)	実行キー
スナップ(解除)	解除キー

- 3) ループ機能/図形描画機能には無効化キーの設定が可能。その場合、「,」で区切る。
※「,」で区切った場合、OR として扱う。(最大2つまで)

＜無効化に対応した機能＞

機能	項目名
ループ	無効キー
図形描画(四角形)	無効キー

- 4) 「J_Target_Setting.xml」(UTF-8 形式)を直接編集しての変更も同様。
- 5) キーコード(10 進数)での指定が可能。
表記方法の例は以下を参照。

＜キー割り当ての表記例＞

キーの指定条件	キー割り当ての表記方法	
	例 1	例 2
「Alt」と「F1」の同時押し	Alt + F1	Alt + 112
「Shift」と「A」の同時押し	Shift + A	16 + A
「Ctrl」とキーボードの「1」の同時押し	Ctrl + KB_1	17 + 49
「Ctrl」と10 キーの「2」の同時押し	Ctrl + 10_2	17 + 98

6) 本アプリケーションでは、キーコードの名称を独自で定義しており、その定義は以下の通り。

名称	キーコード値	名称	キーコード値
BS	8	Win	91
Tab	9	PopUp	93
Enter	13	10_0	96
Shift	16	:	:
Ctrl	17	10_9	105
Alt	18	10_*	106
Pause	19	10_+	107
Esc	27	10_Enter	108
変換	28	10_-	109
無変換	29	10_.	110
Space	32	10_/	111
PgUp	33	F1	112
PgDown	34	:	:
Home	36	F16	127
Left	37	NumLock	144
Up	38	ScrollLock	145
Right	39	Shift_L	160
Down	40	Shift_R	161
PrtScrn	44	Ctrl_L	162
Insert	45	Ctrl_R	163
Delete	46	Alt_L	164
KB_0	48	Alt_R	165
:	:	:	186
KB_9	57	;	187
A	65	,	188
:	:	-	189
Z	90	.	190